

がん医療の最前線

開催日時：平成26年 9月20日(土) 13:00~17:00

開催場所：富士ソフトアキバプラザ 5F (東京秋葉原)

聞いて！
見て！ 触って！
参加しよう！

参加費
無料

URL： <http://kanto-kokusai-ganpro.md.tsukuba.ac.jp/east-sympo2014>

講演 (メインホール)

- がん治療の“リアルなはなし”
- 侵襲性の少ない肝がんの治療法とは
- 難度の高いがん手術 (予定)
- がんのリハビリテーション
- 緩和医療の“ホント”
- 質が高く安全ながん薬物療法とは
- 放射線治療ってなに？

講演会
ライブ配信

対話 (レセプションホール)

- 医療現場で活躍する多くの医療従事者が集結！
現場のはなしを聞いてみよう！
- 医療従事者の1日をみてみよう！
- ポスター展示

※個人的な病気や治療に関する相談にはお応えできません。

体験 (レセプションホール)

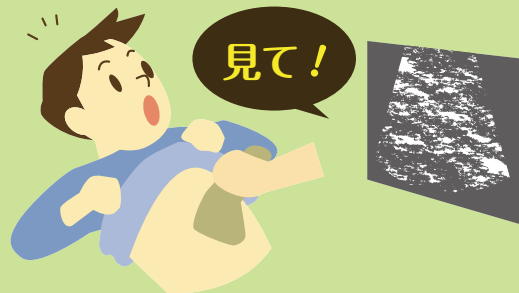
- 鏡視下手術の模擬体験
- 実際の針糸・鉗子を使用しての縫合体験



- 模擬臓器を用いて
3Dで腹腔鏡下手術
(輪ゴム掛けトライアル)



- 超音波装置によるシミュレーション



富士ソフトアキバプラザ



参加申込方法

定員(170名)に達し次第締切

下記のいずれかの方法にてお申込みください。

WEB： <http://kanto-kokusai-ganpro.md.tsukuba.ac.jp/east-sympo2014>

上記ページの申込フォームよりお申込みください。

FAX： 029-853-5745

氏名・電話番号・メールアドレス・職業(学校名)・
希望する講演/体験を明記の上、お申込みください。

お問合せ：筑波大学がんプロ事務局

E-mail: ganpro-jimukyoku@un.tsukuba.ac.jp

QRコード



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

共催：北海道がん医療を担う医療人養成プログラム・東北がんプロフェッショナル養成推進プラン・国際協力型がん臨床指導者養成拠点・
がん治療のブレイクスルーを担う医療人養成・次世代がん治療推進専門家養成プラン・高度がん医療開発を先導する専門家の養成・
ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン・都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育

がん医療の最前線

アキバホール講演プログラム（順番は変更の場合あり）		レセプションホール体験プログラム
13:00-13:05	Opening Remarks 東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 教授 石岡 千加史先生	鏡視下手術の模擬体験  実際の針糸・鉗子を使用しての縫合体験
13:05-13:15	レセプションホール説明	
13:15-13:35	がん治療の“リアルなはなし” 筑波大学医学医療系消化器外科 教授 大河内 信弘 先生	
13:35-13:55	侵襲性の少ない肝がんの治療法とは 東京大学大学院医学系研究科 消化器内科 特任講師 建石 良介 先生	
13:55-14:10	Break	模擬臓器を用いて 3D で腹腔鏡下手術（輪ゴム掛けトライアル）  超音波装置によるシミュレーション 
14:10-14:30	難度の高いがん手術 順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学 教授 堀江 重郎 先生	
14:30-14:50	がんのリハビリテーション 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学 准教授 辻 哲也 先生	
14:50-15:10	緩和医療の“ホント” 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野 教授 三宅 智 先生	
15:10-15:30	Break	3次元CT画像ワークステーションを用いた体内の詳細観察
15:30-15:50	質が高く安全ながん薬物療法とは 東北大学加齢医学研究所 臨床腫瘍学分野 准教授 下平 秀樹 先生	
15:50-16:10	放射線治療ってなに？ 札幌医科大学医学部 放射線医学講座 教授 坂田 耕一 先生	
16:10-16:30	(未定)	
16:30-16:35	Closing Remarks 筑波大学医学医療系消化器外科 教授 大河内 信弘 先生	

東日本がんプロ参加大学

- ・北海道がん医療を担う医療人養成プログラム（札幌医科大学・北海道大学・旭川医科大学・北海道医療大学）
- ・東北がんプロフェッショナル養成推進プラン（東北大学・山形大学・福島県立医科大学・新潟大学）
- ・国際協力型がん臨床指導者養成拠点（筑波大学・千葉大学・群馬大学・日本医科大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・茨城県立医療大学・群馬県立県民健康科学大学）
- ・がん治療のブレイクスルーを担う医療人養成（東京大学・自治医科大学・東邦大学・横浜市立大学）
- ・次世代がん治療推進専門家養成プラン（東京医科歯科大学・弘前大学・秋田大学・東京医科大学・東京工業大学・東京薬科大学）
- ・高度がん医療開発を先導する専門家の養成（慶應義塾大学・東海大学・国際医療福祉大学・東京歯科大学・首都大学東京・聖路加国際大学・北里大学・聖マリアンナ医科大学・山梨大学・信州大学）
- ・ICT と人で繋ぐがん医療維新プラン（順天堂大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学・鳥取大学・島根大学）
- ・都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育（東京女子医科大学・杏林大学・帝京大学・駒澤大学）

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン

順天堂大学・島根大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学

ICTと人で繋ぐがん医療維新プラン



『本グループの説明』

都市と地方に存在する7つの大学を、情報通信技術 (ICT) と人材の交流で結び、それぞれの大学の特色を活かしながら、地域から世界まで、さらに基礎研究から臨床研究まで見渡すことができる、がん研究者およびがん医療専門家の養成を行っています。

<連携大学>

【医科系大学】 順天堂大学、島根大学、鳥取大学、岩手医科大学
【理薬工学系大学】 東京理科大学、明治薬科大学、立教大学

<期待される成果>

- ①医学、薬学、理学、工学が連携することで多学的な研究が促進される。
→がんの基礎的研究の成果を臨床現場に迅速かつ効率的に導入することができる！
- ②都市と地方の間に循環型の人材交流が促進される。
→がん診療の現場のニーズを知り、相互理解と共同研究のシーズが生まれる！

☆がん医療の均てん化と底上げにつながります！☆

『本グループの特徴』

各大学に養成コースを設置

・高度な知識、技術を持った**がん専門医療人**を養成します！

先導的がん医療開発研究センター設置

- ・専任職員の特性を生かし、若手研究者育成を支援します！
- ・連携大学間及び海外研究機関との連携を支援します！
- ・Newsletterを発行し情報発信していきます！

ICT及びFACE to FACEの人材交流

- ・7大学をTV会議システムで結び、カンファレンス開催しています！
- ・連携大学間における医師の派遣交流をしています！

本グループが誇る最前線がん治療の一例

<順天堂大学・鳥取大学>

ロボット手術 ダヴィンチ (da Vinci Surgical System)

ダヴィンチは米国で開発された手術支援ロボットです。医師がモニターを見ながらロボットアームを操作するため、より精密で、正確な動きが可能です。ダヴィンチは、ロボットと呼ばれても基本的には医師が操作します。人間の手のようになめらかに動く鉗子があり、カメラより送られる映像は3D画像で、遠近感がとらえやすくなっています。さらに手ぶれ防止機能や手の動きを縮小して伝えるスケーリング機能などがあり、精密で微細な動きが可能になりました。

順天堂大学では泌尿器外科学(前立腺癌)、鳥取大学では泌尿器外科学・胸部外科学(肺癌)の分野でダヴィンチが使用されています。詳細については各大学HPからご覧頂くことができます。



※da Vinci Surgical System
(Intuitive Surgical, Inc.: 開発元HPより)



本手術の様子

<岩手医科大学>

がんペプチドワクチン療法

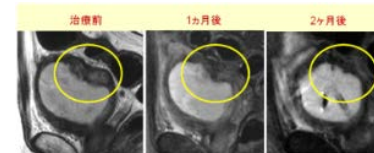
がんの治療法は、外科療法、化学療法、放射線療法の3つが標準とされています。これらの治療法に続く第4の治療法として期待されているのが、がん免疫療法です。がん免疫療法のひとつであるがんペプチドワクチン療法は、がん細胞に発現しているペプチド(腫瘍抗原)を、人間の体の中にある細胞障害性Tリンパ球が特異的に認識し、がん細胞を攻撃するという仕組みから成り立っています。

岩手医科大学では、がんのゲノム情報を基にした研究を通して、がんペプチドワクチン療法を開発し、実際にがん患者さんに投与した結果、その安全性と有効性が確認されました。地域から世界へと発信する、新しいがん医療の確立を目指しています。

ゲノム情報を基にしてペプチドワクチンを開発し患者さんに投与



実際にペプチドワクチン治療を受けた膀胱がん患者さんの写真



<島根大学>

子宮を温存する新子宮頸癌手術

近年、若年層の子宮頸癌が増加していますが、子宮を全摘出することで子供が生めなくなる事が問題となっています。島根大学では癌のある子宮頸部を含む組織を幅広く切除し、残った子宮体部と膣を繋ぐ広汎子宮頸部摘出術(トラケクトミー)を島根県で唯一展開しております。特に、通常の手術では切れてしまう自律神経子宮枝を温存する術式を世界で初めて開発致しました。

この手術を通じて、若年女性が万一子宮頸癌に罹患しても安心して子供を産めるようにしてゆきたいと考えております。

